

地区補助金事業報告書

松永ロータリークラブ

- プロジェクト名 NPO法人どりいむわあくす「けやき工房」（障害者（精神・知的・身体に作業体験、生活体験などを提供）に、作業体験用パソコン、プリンタを寄贈する。
- 贈呈式日時 2012年9月24日 午後1時より
- 場 所 「けやき工房」施設内

プロジェクトの概要

【けやき工房の目的と活動内容】

NPO法人どりいむわあくす「けやき工房」は、昭和62年に福山障がい者共同作業所として開所いたしました。平成22年NPO法人、平成24年就労者継続支援B型の認定を受けております。

この施設の活動は、障害者（精神・知的・身体）の作業体験、生活体験、自然体験などの機会を提供し、人間性向上のために障害者の創作活動を推進し、障害者が社会的に自立し幸福な社会生活ができることを目指して指導、訓練、支援を行う事業を行っています。

（施設の活動内容）

- 作業として・・・縫製糸きり、箱貼り、ラベル貼り等。
- 自主製品作業・・・和紙製箸置き、おかず味噌、クッキー製造販売。
- 訓練として・・・料理、農作業等。
- 創作活動として・・・生け花、書道、陶芸、音楽等。

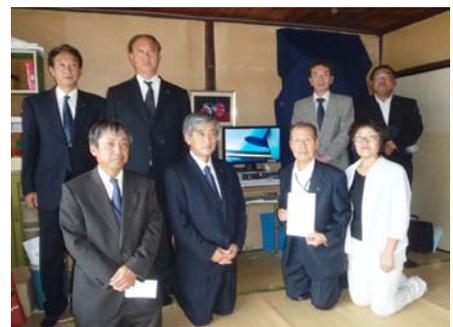
【プロジェクトの意義】

昨今の電子機器の進歩と普及は目ざましく、パソコンも個人や団体において不可欠なモノとなりました。このような時代にパソコン技術の修得は、障害者においても日々の個人生活での情報の収集、また、就労に際しても必要性が高いと思います。

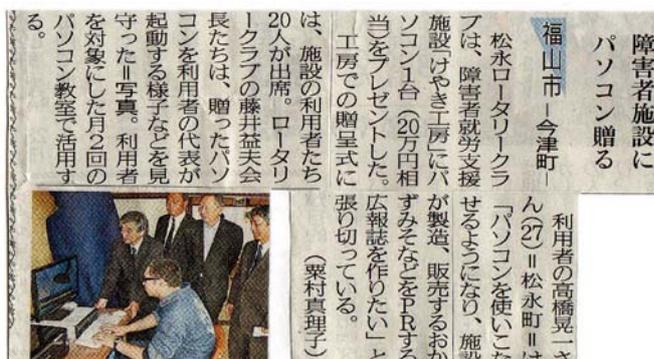
「けやき工房」は自立の一貫として、パソコン教室を今後の活動に組み入れる計画をしていました。私たちロータリアンは障害者がインターネットを利用して情報を集め、多様な学習が可能となり教養を高めたり、趣味を楽しんだり、人生の幅と厚みが広がると考えます。また、技術の修得は就職の際、大変有利な条件と考えます。



藤井益夫会長自ら指導



施設の理事長・施設長と一緒に



中国新聞に掲載



施設の皆さんと・・・。